

# 園だより



第 2 号

平成 27 年 4 月 28 日

## 親の目線で…

園長 山内 武道

平成 27 年度が始まり、子ども達の表情にも落ち着きが出て、これから、ばんけい幼稚園らしい活発な活動が始まり、子ども達はぐんぐん成長する姿を見せてくれます。

### “親の目線で子どもを見て、子どもの目線で子どもに接する”

ばんけい幼稚園の教師は、これをモットーにして、日々の教育を進めています。

“親の目線で…”は、親の気持ちになって子どもを見て、温かい気持ちで子どもを育てていくことです。それぞれの保護者の考えやこれまでの家庭での育ち方、そこで育まれた能力や個性を認めて大切にしながら、子どもを育てていくことを心掛けます。

はじめて、我が子を他に託すこと不安もあると思いますが、これまでの育ちを否定したり責任を転嫁したりすることなく、あるがままを受け入れて子どもを育てていくことにします。それぞれが親としての考え方や環境が異なる中で育ってきたのですから、一人ひとりが違うことが当然であることを認めながら成長をうながしていくよう努力します。

これからの生き方の中で必要な集団生活の仕方やルールやマナーの大切さ・他の仲間との関わり方等々、子どもが初めて体験することを身に着けていきます。

そこでは、自分の考えをいっぱい出して活動し満足感を味わうこともありますが、おもちゃ等の取り合いをして他に譲り悲しい思いをして自分の思い通りにならないことがあることも知る機会になります。そんな経験のどれもが子どもの人間形成に役立ち、心の育ちに大きな影響を与えます。初めて集団生活をする子どもにとっては厳しいことでもありますが、そんな子ども達に親の目線で接して、自信を失ったり心の傷になったりしないようにするのが教師の役割です。

それには、保護者の皆様と教師の共通理解と連携協力が欠かすことができません。心配なこと気にかかることがありましたら、ご連絡いただくことをお願いします。

そのことで、子どもは安心して幼稚園生活を送り大きく成長する姿を見せてくれます。

保護者の皆様へ

子どもの育ちは、家庭と幼稚園(学校)の共通理解・連携協力がとても大切です。保護者の皆様と同じ考えを持って子どもを育てていくために、ばんけい幼稚園では全教師で下記のことを確かめ合って、人間関係を大切にしながら保護者の皆様との連携協力を努めています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 担任教師と保護者の共通理解と連携

保護者も担任教師も一人ひとりの子どもに“こんなふうに育ってほしい…こんなことができるようになってほしい…”等の願いを持っている。それをできるだけ早く確実に身につけるためには、保護者と担任教師の共通理解と連携協力が最も大切である。

《例えば》

- ・身支度を、自分で早くできるようになってほしい
- ・食事を好き嫌いせず、残さずに食べられようになってほしい
- ・自分のことは、自分の力でやれるようになってほしい
- ・自分の思っていることを、言えるようになってほしい
- ・たくさんの仲間と、仲良く遊べるようになってほしい
- ・使った物の片付けを、自分でできるようになってほしい
- ・他の人の話しを、よく聞けるようになってほしい
- ・物事に、もっと集中して取り組めるようになってほしい

等々、保護者も子どもに対する願いを持っているし、同様に担任教師も一人ひとりの子どもに対する願いを持って、それを日頃の幼稚園生活の中で指導していく必要がある。

まず、その様な願いを保護者と担任教師が共有することが大切である。 さらには、それを身につけていくために、子どもに対して“どんな手立てをとるか…どのように接し、どのように指導していくか…”を話し合い、保護者と担任教師とが共通理解を持ち連携する必要がある。

これらのことについて、保護者の願いを感じて、教師の側から早い機会に話し合う場を設けるようにしていく。その際には、先ず保護者の考えや家庭での子どもの様子をじっくりと聞き、教師の考えを押し付けることのないように心がける必要がある。

そのためには、先ず、幼児教育の専門職である教師として解決の方向性や手立てについての考えを持ち、保護者と話し合い共に連携して指導に当たることを伝える。そのことによって、保護者との誤解が生まれることもなく、指導の効果も上がることになる。

また、指導の方法については、手を貸してしっかりと教えるやり方・子どもが出来るまで待つやり方等があることを理解してもらい、それを日々の生活の中で実行していく。

また、連絡帳や電話で連絡を取り合うことも大切にできるように心がける。

◎教育や子育ての目的は“子どもを自立させること”です。就職先にまで親が付き添い、自立させることを忘れていた最近の保護者の関わりを憂慮しています。

朝、バスに乗る時が自立のスタートです。明るく元気な笑顔で送り出してください。

## 子育て井戸端会議

子育てをしている親は、みんな迷いや悩みを持っています。それを話したり他の人の経験等を聞くことで、解決への糸口をつかんだり子どもの変化の様子を納得したりできます。

在園児だけでなく卒園児の保護者の方も参加し、和気あいあいの雰囲気の中で語り合います。小さなお子さんを連れて来られても、在園児以外の方の参加も歓迎します。悩みや迷いがなくても、幼稚園での子どもの様子を見ながら参加していただくのも結構です。旨いコーヒーを飲みながら、園長も参加し気軽に話し合う井戸端会議で、もちろん、費用は不要です。

平成27年度は、下記の日程で行いますので、たくさんの皆さんの参加をお待ちしています。

○5月27日(水)      ○6月24日(水)      ○9月30日(水)      ○10月28日(水)

○11月25日(水)      ○2月10日(水)…最終回(小学校への心構えも話題になりました)

時間は、10:00～11:30

## 安全に気配りを…

雪に閉ざされていた北国に住む人々にとって、春の訪れはとても嬉しい季節です。しかし、この時期には心が弾み、精神的な油断も出て、事故が多発する傾向があります。車の事故・融雪による水の事故だけでなく通り魔による事件やわいせつ的な事件も、例年、多発します。身の周りには思いがけない危険が潜在していることを心に留めておく必要があります。臆病になってはなりません、注意深くなることが求められます。

### <車の事故>

○道路の横断は、注意深く一横断歩道での事故が多く、左右の確認・左折右折する車や大型車が歩道に乗り上げて曲がることにも注意

○駐車場でも事故に注意—スーパー等の駐車場も安全ではありません。自宅の駐車場から車を出す時にも十分に注意して…

※連休中には慣れない所に出かけることが多いので、子どもの行動から目を離さずに注意していただくことを願っています…誘拐事件もあります

### <雪解けによる川の近くや水溜りでの事故>

○積もっている雪の下は融けていて、大変危険です—落ちて流されても救助できません

○家の周りや訪れた場所の危険を、大人目でチェックを…

## 早寝・早起き・朝ごはん

日本は便利な社会になり人々の生活にも、昔とは異なる状況になっています。子どもも、その影響を受けて生活習慣が変化している傾向があります。

“良い生活習慣は才能を超える” そんなことばを聞いたことがあります。

事実、大人も睡眠時間が不足していると仕事の能率が上がらなかつたり思わぬミスをしたりすることがあり、良い生活習慣の大切さを思い知らされます。

それが子どもには顕著に表れて、生活習慣が乱れると機嫌が悪かつたり怪我をしたりすることがあります。さらには自分が持っている長所を発揮できずに、くやしい思いや辛い思いをして1日を過ごすこともしばしばあります。

幼稚園の時期には、睡眠時間を十分にとること・朝食を摂ること・排便をすることを生活習慣として身につけることが大切です。(ばんけい幼稚園では、朝食抜きでは活動できません)

子どもは、早起きをすると、朝食をゆっくり摂り排便もできて体調がよく、幼稚園の活動に元気で取り組み、生き生きとした活発な姿を見せてくれます。

そのために、子どもにとって早寝・早起き・朝ごはんがとても大切な生活習慣です。

ばんけい幼稚園では、体を使って力いっぱい活動します。そのことで夕食もおいしく食べることができて、元気な体づくりに結びつきます。(できるだけ間食を控えて…)

子どもの成長にとって基本的な生活習慣は、当たり前のことです。

それをしっかりと身につけると、子どもが持っている才能を十分に発揮できますし、大人になってからの財産になり、持っている力を出し切って活躍することができます。

それが<良い生活習慣は才能を超える>の意味で、それは事実だと確信しています。

また“当たり前のことを着々と続けてやれることが才能になる”とも言われています。

良い生活習慣を毎日の生活の中で当たり前のこととして身につけさせたいと願っています。

科学技術やスポーツを極めた人々からも、当たり前のことを地道に続けることから素晴らしい結果が生み出されたという声が聴かれます。子ども達には当たり前のことをコツコツと続けて、それを財産にして、充実した生活をしてほしいと願っています。